



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 有岡 雅行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 稲増 耕一
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	62,003	△17.2	3,359	△56.9	3,614	△49.5	1,857	202.4
25年3月期第1四半期	74,921	△21.7	7,794	△72.2	7,152	△74.0	614	△95.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 11,238百万円 (94.9%) 25年3月期第1四半期 5,765百万円 (△59.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.74	—
25年3月期第1四半期	1.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	705,906	502,552	70.2
25年3月期	697,385	495,294	70.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 495,874百万円 25年3月期 488,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	126,000	△16.7	9,000	△46.4	8,000	△46.4	5,000	8.7	10.05
	~131,000	~△13.4	~11,000	~△34.5	~10,000	~△33.0	~6,000	~30.4	~12.06
通期	270,000	△6.0	15,000	△39.9	13,000	△42.9	8,000	△24.5	16.08
	~290,000	~0.9	~21,000	~△15.9	~19,000	~△16.5	~12,000	~13.2	~24.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料3ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	497,616,234 株	25年3月期	497,616,234 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	210,264 株	25年3月期	208,204 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	497,407,135 株	25年3月期1Q	497,409,917 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) （参考）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[第1四半期累計期間]

①概況

世界経済は、欧州では依然として景気の低迷が続き、中国では内需や輸出の鈍化に伴い減速感が強まりました。一方、米国では、住宅市場の回復や雇用環境の改善、個人消費の拡大など、景気回復の動きが見られました。国内経済は、金融政策に伴う円安を背景とした輸出の増加や株式市況の回復、個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調をたどりました。

このような中、当第1四半期（平成25年4月1日～6月30日）においては、主として液晶ディスプレイ（LCD）用基板ガラスやガラスファイバの販売が想定を上回ったほか、生産性の改善や費用の削減が進展しました。これらにより、業績は、前年同四半期（平成24年4月1日～6月30日）との比較では低下したものの、売上・利益とも当初の予想レンジ（平成25年4月26日公表）の上限値を上回り、概ね前四半期（平成25年1月1日～3月31日）並の水準を確保することができました。

②経営成績

	前第1四半期累計期間 (24/4～24/6) (億円)	当第1四半期累計期間 (25/4～25/6) (億円)	増減 (%)
売上高	749	620	△17
営業利益	77	33	△57
経常利益	71	36	△49
純利益	6	18	202

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第1四半期累計期間 (24/4～24/6)		当第1四半期累計期間 (25/4～25/6)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	595	80	456	74	△139	△23
	その他用ガラス	153	20	163	26	10	7
合計		749	100	620	100	△129	△17

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

・電子・情報用ガラス：

LCD用基板ガラスの販売は想定を上回り、底打ちの動きが見られました。光関連や電子デバイス用ガラスでは、需要の回復を背景として、また太陽電池用基板ガラスでは、国内の電力固定価格買取制度が市場を牽引し、販売がそれぞれ堅調に推移しました。

・その他用ガラス：

ガラスファイバでは、主力の自動車部品向けの需要が回復し販売が増加しましたが、建築・耐熱・その他の事業は厳しい事業環境が続きました。

(損益面)

LCD用基板ガラスの価格下落は緩やかになったものの、円安により原燃料価格が上昇しました。一方で、光関連や電子デバイス用ガラス、太陽電池用基板ガラス、ガラスファイバなどの販売が堅調に推移したほか、生産性改善、費用削減、減価償却費の減少などが利益を押し上げました。これらにより、営業・経常利益とも前年同四半期との比較では減益となりましたが、前四半期並みの水準を達成することができました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

(平成26年3月期第2四半期連結業績予想)

	平成25年3月期 第2四半期累計期間 (24/4～24/9) (億円)	平成26年3月期 第2四半期累計期間 (25/4～25/9) (億円)	増減 (%)
売上高	1,513	1,260～1,310	△17～△13
営業利益	167	90～110	△46～△35
経常利益	149	80～100	△46～△33
純利益	46	50～60	9～30

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

世界経済は、欧州や中国では今後も予断を許さぬ状況が続くものと思われませんが、米国や日本においては景気回復の進展が期待されます。

このような中、第2四半期(平成25年7月1日～9月30日)に関しては、LCD用基板ガラスの出荷は第1四半期比で小幅な伸びを見込み、光関連や電子デバイス用ガラス、太陽電池用基板ガラス、ガラスファイバなどでは引き続き堅調な出荷を予想しています。一方、費用面では、円安に伴う原燃料価格の上昇などが損益に影響を及ぼす可能性があります。一方、調達方法の見直しや生産性の改善、費用削減の取り組み等を通じ、コストの上昇を抑えていく所存です。これらにより、第2四半期累計期間の連結業績については上表のとおり予想しており、第2四半期にかけて改善に向かうものと見込んでいます。

なお、平成25年4月26日に公表した平成26年3月期の通期連結業績予想については、現時点では据え置くことといたします。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,420	128,765
受取手形及び売掛金	45,824	45,240
商品及び製品	31,552	34,659
仕掛品	2,479	1,885
原材料及び貯蔵品	21,203	20,753
その他	13,199	13,196
貸倒引当金	△103	△90
流動資産合計	243,576	244,409
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	303,742	301,540
その他（純額）	91,633	95,712
有形固定資産合計	395,375	397,252
無形固定資産		
投資その他の資産	2,090	2,177
その他	56,383	62,106
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	56,342	62,066
固定資産合計	453,809	461,496
資産合計	697,385	705,906
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,805	34,821
短期借入金	22,712	21,859
未払法人税等	1,423	2,398
その他の引当金	94	21
その他	28,003	28,823
流動負債合計	88,038	87,924
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	36,891	36,889
特別修繕引当金	35,032	36,620
その他の引当金	989	988
その他	1,138	930
固定負債合計	114,052	115,428
負債合計	202,091	203,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,351	34,351
利益剰余金	418,419	416,298
自己株式	△270	△271
株主資本合計	484,657	482,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,852	15,773
繰延ヘッジ損益	△67	300
為替換算調整勘定	△6,506	△2,734
その他の包括利益累計額合計	4,279	13,339
少数株主持分	6,358	6,678
純資産合計	495,294	502,552
負債純資産合計	697,385	705,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	74,921	62,003
売上原価	60,626	51,894
売上総利益	14,294	10,109
販売費及び一般管理費	6,500	6,750
営業利益	7,794	3,359
営業外収益		
受取利息	29	47
受取配当金	274	518
為替差益	—	571
その他	303	278
営業外収益合計	607	1,415
営業外費用		
支払利息	213	191
固定資産除却損	327	94
休止固定資産減価償却費	406	582
その他	300	291
営業外費用合計	1,249	1,160
経常利益	7,152	3,614
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	866	75
特別利益合計	866	75
特別損失		
固定資産除却損	256	424
投資有価証券評価損	4,074	—
その他	327	—
特別損失合計	4,658	424
税金等調整前四半期純利益	3,360	3,266
法人税等	2,364	1,111
少数株主損益調整前四半期純利益	996	2,154
少数株主利益	381	296
四半期純利益	614	1,857

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	996	2,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	955	4,920
繰延ヘッジ損益	△48	367
為替換算調整勘定	3,861	3,796
その他の包括利益合計	4,768	9,084
四半期包括利益	5,765	11,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,369	10,918
少数株主に係る四半期包括利益	395	320

(3) (参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,360	3,266
減価償却費	10,950	8,252
売上債権の増減額(△は増加)	△5,823	1,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,525	△2,237
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,123	△2,155
法人税等の支払額	△1,089	△872
その他	6,453	2,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,253	9,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△12,915	△5,896
その他	△2,914	△1,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,830	△7,894
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金及び社債等の純増減額(△は減少)	△590	△860
配当金の支払額	△3,808	△3,790
その他	△47	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,445	△4,674
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	228
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,876	△2,700
現金及び現金同等物の期首残高	105,209	121,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	93,333	119,040

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。